

令和8年2月10日

二本松市議会議長  
本多 勝実 様

総務市民常任委員会  
委員長 坂本 和広

### 持続可能な財政運営に関する提言

予想を超える速さで人口減少が進行する中、限られた財源で最大限の効果を発揮する市政運営が求められている。より充実した施策の実現のためには、新たな財源の確保や経常経費の削減により政策的経費を確保しなければならない。

そこで、現在の本市の状況や取り組みを踏まえながら、先進事例の調査等を通じて持続可能な財政運営に関する調査・研究を行ってきた。

この度、本委員会として以下のとおり提言する。

#### 記

#### 1. 財源の確保

- (1) ガバメントクラウドファンディングについて、多くの賛同をいただけるような事業には積極的に取り入れ、財源確保と本市の魅力発信に努めること。
- (2) ふるさと納税について、返礼品の磨き上げや社会貢献型返礼品の検討を行い、毎年の受納額目標を達成しつつ、更なる資金を呼び込むよう、泉佐野市が実施している「ふるさと納税3.0」を参考とし取り組むこと。
- (3) ネーミングライツについて、公共施設や道路、橋、街路灯などで積極的に実施し、歳入の増加と市民の参加意識向上を図ること。実施に当たっては、市民への十分な説明を行うとともに、大型施設以外で金額を50万円以下に設定する、個人も応募できるようにするなど応募者の増加に努めること。
- (4) 施設の使用料について、市民と市民以外とを区別した使用料を設定すること。
- (5) 各施策について、相応の受益者負担を求めるなど抜本の見直しを行うこと。
- (6) 税収確保のため、人口動態の詳細なデータ収集と集積を行い、データに基づいた人口増加策を行うこと。

#### 2. 市有財産の整理

- (1) 将来的な公共施設のあり方などについて具体的な方針を定め、公共施設の整理統合を積極的に推進すること。特に、温泉施設や宿泊施設であるスカイピアあだたら、名目津温泉、ウッディハウスとうわについては、民間への売却や貸付を検討すること。

また、総合射撃場については、昨今の熊被害を鑑み狩猟者の練習場として必要であるため、設備等を精査し、管理費を抑えたコンパクトな運営を行うこと。

- (2) 立地適正化計画に基づくまちづくりを進め、市の出先機関については将来的に機能を本庁へ一本化し、組織のスリム化を図ること。

### 3. 財政状況の市民への周知

- (1) 当市の財政が厳しい状況にあるという認識を持ってもらうために、市の財政を家計に置き換えたり、漫画を用いたりして分かりやすく表現し、子どもたちを含めた幅広い世代の市民へ知らせること。

- (2) 今後30年で必要な公共施設の維持管理及び更新に係る費用と、その財源を確保するための対策を市民へ分かりやすく公表すること。

### 4. その他

資金確保や効果的な事業見直しを行った部署にはインセンティブ予算を付与することで、限られた予算で最大限の効果が期待できることから、本市でも導入を検討すること。